

令和2年 秋期釜利谷地区推進連絡会

1 日時

令和2年10月5日（月） 17:00～18:40

2 場所

釜利谷地区センター 中小会議室

3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係	25名
（支援チーム、その他行政側）	
区役所	6名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	2名

4 第4期釜利谷地区地域福祉保健計画策定にむけて【説明者 事業企画担当】

金沢区の将来人口、高齢化率や要介護認定率等及び「金沢区暮らしや地域に関する意識調査結果（R元年実施）」における釜利谷地区の結果等の説明

5 第3期釜利谷地区地域福祉保健計画振り返り及び次期計画に向けて

【部会別報告】

（1）保健活動推進委員会

ラジオ体操講習会参加者から自治会町内会での実施につながった。体幹を鍛える講習会は男性の参加者が多かった。今後も男性参加者を増やしたい。親子音楽会は赤ちゃんを抱っこしながら参加できる生演奏会のため好評だった。

（2）シニアクラブ釜利谷第一

ラジオ体操は週2回、清掃活動は毎月、シニア大学、寿大学等の実施、9月は敬老の日の制定に対し感謝と恩返しの気持ちで団地内の清掃に取り組んだ。メンバーの平均年齢が80代と高齢化しているが、定年の延長などもあり後継者不足の課題がある。

（3）民生委員児童委員協議会

ひとり暮らし高齢者が650人超となり、以前実施していたお弁当の配達は不可能となったため、マスクやティッシュボックスなどのプレゼントを持って訪問している。今後もこの活動を継続しつつ、民生委員同士が情報を共有できるようにしていきたい。

(4) 連合町内会

昭和 41 年の敬老の日制定前から、敬老芸能大会を毎年実施し、昨年で 68 回になる。

各町内会自治会からの芸自慢のほか、昨年は金沢中学校の弦楽部に参加してもらった。参加者は自分の孫を見るような暖かい雰囲気にも包まれた。今後も継続したい。

(5) 子育て連絡会

「親子ほっとサロン」では親同士や地域の方々とのつながりづくりもできた。また、保健活動推進員の協力で母親の健康チェックを 2 年前から実施。この 5 年間で様々な子育て支援を行っている団体や施設と連携したことで、顔の見える関係づくりが進んできていると実感している。次期計画においても子育て中の親子の場づくりは重要であり、若い方と地域とのつながりを持ちにくくなっていることなどを踏まえて活動していきたい。

(6) 保護司会

児童選任教諭や主任児童委員に子供たちの再犯を起ささないようにするためにどうすればよいか、など教えてもらいながら活動している。

対象の方を訪問し、状況を聞くことや就職の支援などを行っている。近年は被害者にも寄り添う活動も行うことになっている。

犯罪から生まれる悲しみを減らすため、加害者も被害者も出さないことが最善だと考えている。

(7) 更生保護女性会

犯罪は減っても再犯が多いのが現状。近年は、虐待やいじめなど目に見えない犯罪が深刻であり、私たちが地域の状況を把握し、地域に関心を持つことが大切だと考えている。犯罪を起こす原因の一番は「孤独」。子供の育て方においても、ほめ方や、しかり方は子どもによって違う。更生保護女性会の「更生」という「立ち直る、よみがえる」という文字の意味をぜひとも知っていただきたい。

(8) 主任児童委員

小学校 6 校、中学校 3 校と連携し、各自治会・町内会の民生委員と協力し情報を共有している。今後も民生委員や学校と連携しながら、子どもたちの健全育成を進めていきたい。

(9) ホイール若菜

子どもたちの登下校の支援は対象の児童がいないため、近年は行っていません。障害のある子どもたちの登下校支援として、子どもの通学の安全確保と親の負担軽減があるが、顔の見える関係づくりを進めていくことが大切だと思う。

(10) スポーツ推進委員

夏の時期と卒業次期に球技大会として小学校でミニバスケット及びソフトボール大会を開催している。8月には地区センターで、さわやかスポーツ大会を青少年指導員の夏祭りと合わせて実施し、毎年約200人程度の参加者がいる。青少年指導員と連携した活動が出来ているのは釜利谷地区だけである。

(11) 地区社会福祉協議会

- ・ 広報誌「かまりや」を回覧から毎年1回全戸配布（12,000部）している。
- ・ 社会を明るくする運動では様々な講演会を実施してきた。
- ・ 自主事業として金沢動物園のバックヤードツアーを行っている。

(12) 地域ケアプラザ

釜利谷ケアプラザとしては、認知症サポーター養成講座を園児から大学生まで若い年齢層に幅広く実施した。男性向けの太極拳は好評で元気づくりステーションとして定着することができた。地域連携組織である「かまりやの」のあいさつ運動は活動を拡充することができた。次年度はFacebookなどインターネットを活用した新たなつながりを推進したい。

西金沢ケアプラザとしては、町内会の担い手を見つけるのが難しいという声を受けて、自治会町内会の枠を超えて参加できる事業「だれでもカレー」を立ち上げ実施へとつなげ、多世代交流にもつながった。

西金沢CPの圏域は山坂が多く、買い物困窮者の問題が課題となっていた。移動販売車の運行実施に向け、セブンイレブンの移動販売を実施出来た。

コロナの影響でケアプラザに来ていただくことが難しいため、SNSやホームページ等を活用し相談ができる仕組みを作って行きたい。